

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	31-4
PDCA	主要事業名	公民館管理運営事業	部課名	生涯学習課	担当	榑原
					内線	23-7341

P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 1 単位施策： 学びの推進					
	全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 70,297 千円					
	会計		一般会計		歳出科目 09.05.02.03.52	
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： — 千円					
	事業概要等	事業概要： 幅広い世代の住民が、多様な生涯学習活動に参加し、生きがいある生活を楽しむことができる地域づくりを目的とし、生涯学習活動、地域活動の拠点となる14地区公民館及び2生涯学習施設の管理運営を実施する。				
		事業目的： 多様な生涯学習活動を通して、地域住民のふれあう場所づくりを行う。				
		事業内容： 地域住民にとって生涯学習活動の拠点となるよう適切な施設管理運営を行うと同時に地区公民館の公民館独自の事業及び地域との共催事業を行う。				
	予算額 70,297 千円	主要事業とする理由				
		地域住民にとって生涯学習活動の拠点としての役割を担う上で14公民館及び2生涯学習施設の適切な管理運営が必要なため。				
	財源内訳	得られる成果				
市費 64,065 千円	多世代による、多様な利用が促進され、地域の生涯学習活動が活性化される。					
国費 0 千円	目標値や目指すべき状態					
県費 0 千円		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	
その他 6,232 千円	地区公民館稼働率(集会室・ホール)	実績値	73.8	60.3	—	%
		目標値	77.0	78.0	78.0	%
	地区公民館ふれあい事業参加者数	実績値	25,863	4,031	—	人
		目標値	31,000	33,000	33,000	人
		実績値				
		目標値				

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果				
	73,082 千円	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの活動ができず、先行き不透明な状況である。				
		成果指標			令和3年度	単位
		地区公民館稼働率(集会室・ホール)	実績値	68.1	%	
C 課題の整理	事業の評価・課題	C				
		新型コロナウイルス感染症の影響で開館時間の短縮など、施設の利用制限を行っていたこともあり、公民館稼働率は目標値に至らず、また前々年度の水準にも満たなかったものの、前年度に比べて大きく向上した。ふれあい事業についても新型コロナウイルス感染症予防の観点から募集定員を制限したり、例年並みの事業規模を維持できなかったりしたことから、目標値を大きく下回った。その中でも子どもから大人まで参加できるスポーツ系のイベントを開催するなど、開催内容には工夫を図り、若い世代の利用増加に向けては取り組んだ。				
			実績値	5,988	人	
			目標値	33,000	人	
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進				
		地域住民が気軽に足を運べる公民館づくりを念頭に、各公民館ごとに地域の特色を生かした幅広い年齢層向けの事業を開催する。				
	観点別評価	必要性	有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト ない	削減余地 ※対象・手段の変更	
	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	ない		
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない				

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用